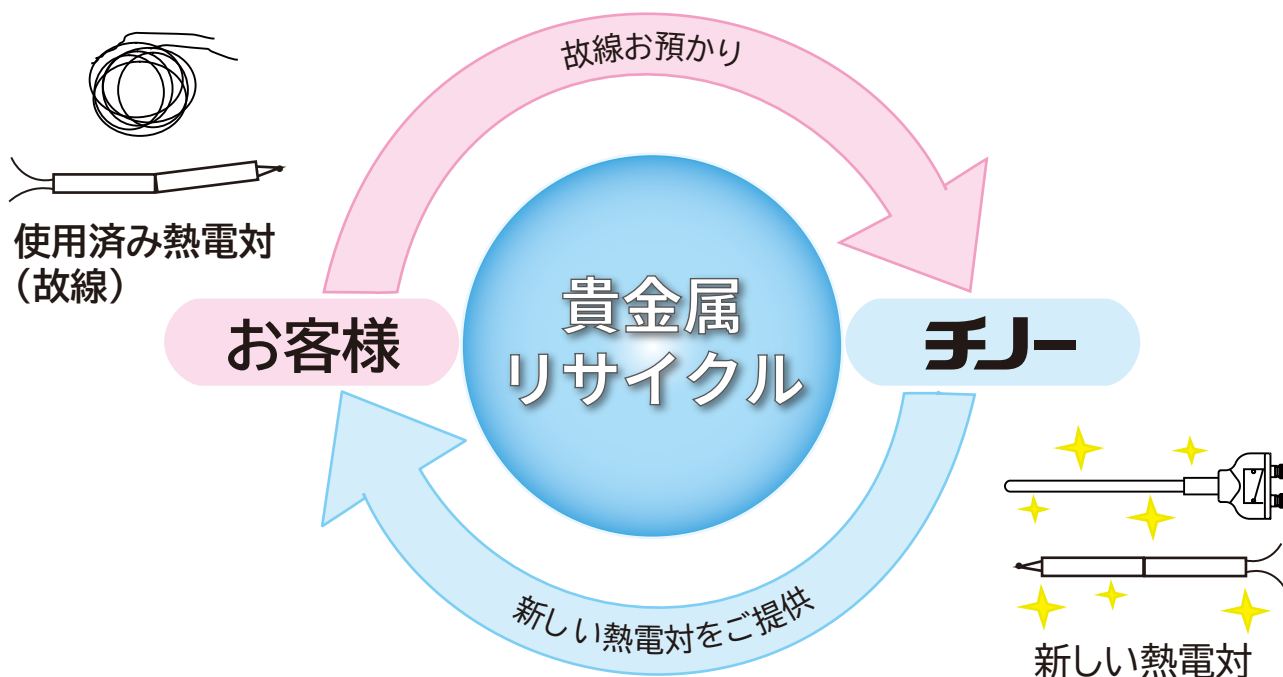


貴金属熱電対改鑄のご案内

～ 限りある資源の有効活用～

貴金属熱電対(R熱電対)はリサイクル可能です。
改鑄費用で新しい熱電対が購入できるので非常にお得です。



■対象商品

お預かりする故線（使用済み熱電対）および、完成品はR熱電対が対象となります。他社製品も改鑄可能です。（お客様との信用取引になります）

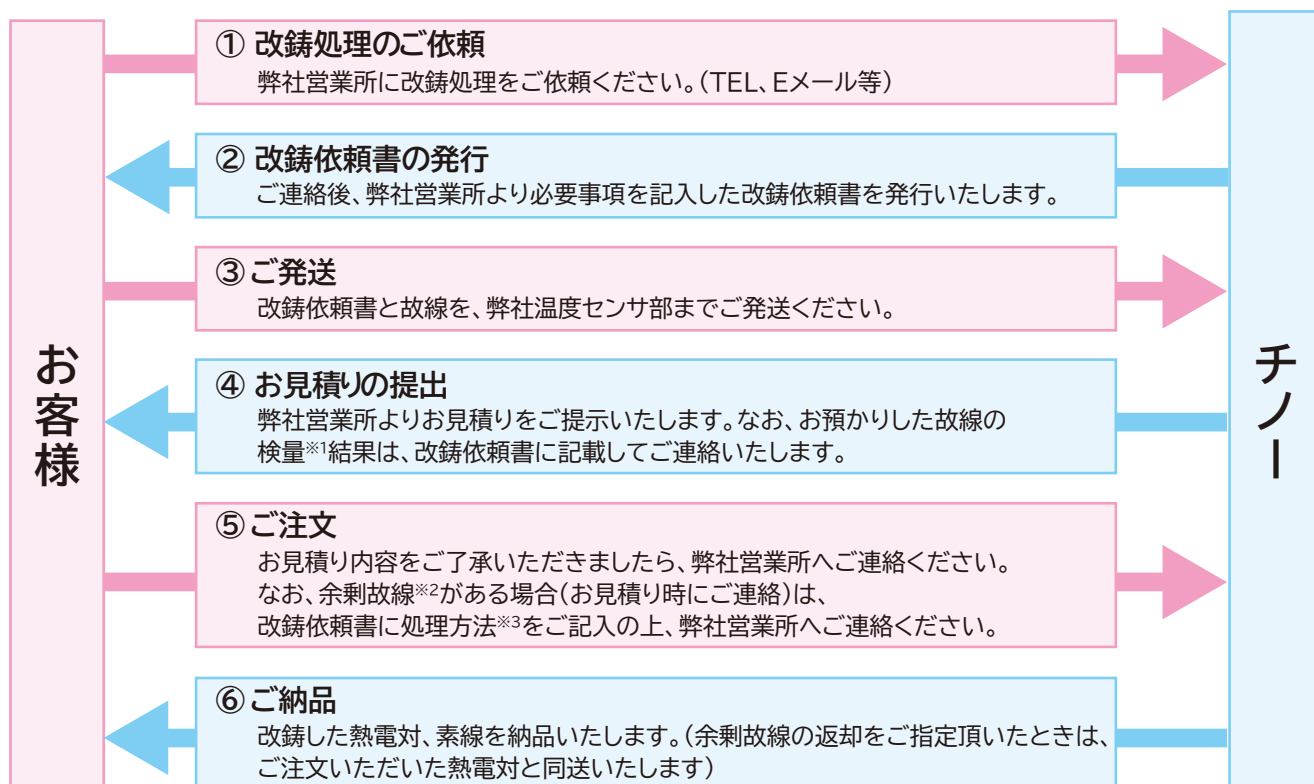
■ご納入品について

R熱電対素線または、R熱電対完成品のみとなります。
R熱電対素線は線径φ0.5mm、
クラス1、クラス2のみとなります。

■お見積り内容について

- 先端溶接付きR熱電対素線
改鑄費用+先端溶接費用 ※
(絶縁管付きの場合は別途組立て・材料費を加算)
- 完成品
改鑄費用+先端溶接費用+組立て・材料費用 他 ※
- お預かりする熱電対の仕様が不明で、保護管付きの現品などをお送りいただく場合は、別途分解・調査費が発生いたします。

※ 希望仕様の長さに満たない場合は不足分の価格を加算させていただきます
ご不明点は弊社営業所へお問合せください



※1 お客様の故線重量につきまして、弊社検量と大きな相違がある場合は、弊社営業所からご連絡いたします
 ※2 余剰故線とは、お預かりした故線より受注製品分の長さが短く、計算上余った故線になります
 ※3 余剰故線の処理方法は、返却・処分・お預かりからお選びください

■ 貴金属熱電対改鋳Q&A集

Q 改鋳したR熱電対の品質は問題ありませんか？

A ご納入する R 熱電対は、貴金属メーカーから納入した素線を使用する為、品質に問題ございません。

Q 改鋳費用は貴金属地金相場によって変動しませんか？

A 改鋳時に地金が不足しない場合、変動しません。改鋳費用はお預かりした故線を改鋳するだけの手数料です。

Q 依頼した故線より新規納入する熱電対の方が長くなる場合は？

A 足りない分の長さは、最新の熱電対の価格で算出いたします。

Q 依頼した故線より新規納入する熱電対の方が短くなる場合は？

A 余剰故線は、製品出荷時に故線の状態で返却、もしくは故線受付日から最長 3 か月間お預かりいたします。故線を一度にお預かりし、毎月製品を納入する等の運用方法もございますので、ご相談ください。

Q R熱電対以外の貴金属熱電対故線、または素線の種類がわからない場合は？

A お預かりする熱電対はR熱電対以外受付できません。B熱電対や Pt60Rh40-Pt80Rh20 熱電対などの故線では、特例もございますのでご相談ください。

Q 素線径がφ0.5mm 以外のR熱電対故線を支給して改鋳はできますか？

A 重量を測定しますので可能ですが、納入する製品はφ0.5mm のみとなります。

Q 受注製品納入後にR熱電対故線を支給することは可能ですか？

A ご注文時に清算金額を決定する必要があるためできません。ご注文時に故線をご支給ください。

Q B熱電対製品製作分に、R熱電対故線を使って改鋳はできますか？

A できません。ただし特例もございますので、ご相談ください。

改鋳のご依頼につきまして、まずは弊社営業所へお問い合わせください。ご使用済R熱電対故線の重量と新しい熱電対の仕様をご確認させていただき、概算お見積書をご提示させていただきます。